

イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率検定結果について

ウイルス 保毒虫率(%)	低い
イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率 本年：0.1%（平年：4.0%）	

今年のヒメトビウンカのイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率は、**平均0.1%（平年4.0%）**と、平年と比べて低い状況です。

ただし、縞葉枯病罹病性品種を作付しており、かつ箱施薬を行っていない水田では、本田防除を行ってください。

表 イネ縞葉枯ウイルス保毒虫検定結果

調査地点	保毒虫率(%)		
	R1	H30	平年
岐阜市又丸	0.0	0.0	5.5
神戸町	0.0	0.0	5.4
羽島市	1.0	1.0	1.6
大野町	0.0	2.1	3.8
北方町	0.0	0.0	6.0
海津町	0.0	1.0	3.0
関市	0.0	1.0	2.8
平均	0.1	0.7	4.0

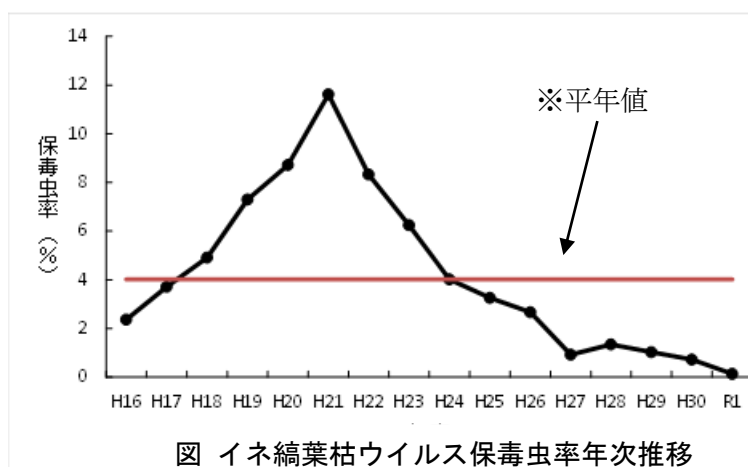


図 イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率年次推移
※平年値は10ヶ年平均値(H21～H30)

(備考)

- ・簡易ELISA法による検定 ※H26までは高比重ラテックス法による検定
- ・小麦ほ場で採取したヒメトビウンカ幼虫を供試
- ・供試虫採取及び検定 令和元年5月17日～6月19日

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農林水産消費安全技術センター
http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm
- ・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病害虫防除所
<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>